

# 中澤省一郎のSS経営メールマガジン No.10

(配信は不定期です。できる限り月1回以上は配信します)

- 【第1部】 2月15日に少人数SS経営ゼミ**  
「EM日本撤退スキーム公表！ - 小人数で徹底解説と質疑応答 -」を開催します。
- 【第2部】 SS関連トピック EM日本撤退その7**  
「EMとTGの親子上場の利害対立と高配当による高株価」

## 【第1部】 2月15日に少人数SS経営ゼミ

### 「EM日本撤退スキーム公表！ - 小人数で徹底解説と質疑応答 -」を開催します。

- 日時： 2月15日 (水)  
午後1:30~3:30 EM撤退スキームの徹底解説 (今後の動向を含む)  
3:40~4:40 徹底討論及び質疑応答
- 参加資格： 1月24日のSS経営セミナー参加者及び講演収録CDの購入者 (以下、参加者等といいます)
- 会場： 都内 最寄駅 【月島駅】地下鉄大江戸線、有楽町線徒歩5分  
【東京駅】八重洲口タクシー1,000円程度
- 定員： 定員15名
- 会費： 20,000円
- CD販売： 参加者等 = 8,000円  
それ以外 = 16,000円 (1月24日開催のSS経営セミナー収録CD付き)
- 参加希望者は：[ss-seminar@garden-network.co.jp](mailto:ss-seminar@garden-network.co.jp) メール  
ファックスでの申込み用紙は、以下のHPからもダウンロードできます。  
<http://nakazawa-cpa.net/seminar.html>

「1月24日に参加もしていませんし、CD-ROMを購入していない場合にどうしたら、2月15日に参加できるの？」という問い合わせをいただきました。

**【参加希望】 + 【1月24日のCD-ROM購入】** で参加できます。

ご希望の方は、お早めに。

## 【第2部】 SS関連トピック EM日本撤退その7

### 「EMとTGの親子上場の利害対立と高配当による高株価」

1月24日のSS経営セミナーで非常に反響が大きかったので、簡単に書きます。  
詳しくは、1月24日のCDをお聞きいただくか、2月15日のSS経営ゼミに参加なさるか、CDをお聞きください。

- (1) 1月29日公表の「EM日本撤退スキーム」では、「親子の解消が明白」になっています。
1. 3月までにEM (有) は300万株のTG株を第3者へ売却します。
  2. 3月の株主総会で、役員の派遣を4名から2名に削減します。
  3. EM本体はEM (有) からTG株8,000万株を取得し、EM (有) は、TG株を約2億株 (35%) を所有しています。
  4. EM (有) は合同会社となり6月1日にTGは99%を「3,020億円」で取得します。  
(「99%と3,020億円の意味」は次回のメルマガで言及します)
  5. TGの子会社であるEM (同) が8,000万株の一部のTG株を第三者に譲渡するか、EM本体が所有しているTG株の一部を第三者へ売却する等の場合にはEMは筆頭株主であるが、TGはEM本体の子会社でもなく、関連会社でもなくなる可能性があります。

- (2) 現状では、TGは東証に上場し、EMはNYに上場し、TG株の50%超はEMが所有している親子上場です。
- (3) 取引関係にある親子上場では、TGの一般株主とEMの株主の利害が対立します。  
利益をEMに帰属させれば、EMの株主の利益ですが、TGの株主には不利益です。  
この解消策は2つです。  
A：TGの上場を廃止して、EMの100%子会社になる。  
B：TGとEM（有）を合併させるか、EM（有）をTGの100%子会社にする。  
今回のEMの選択は、Bでした。99%ですが。
- (4) EMはTGに103人が出向し、TGは130億円を払っています（一人当たり1億2,600万円）。  
逆に、TGはEMに240人出向し、EMは87億円払ってます（一人当たり3,600万円）。  
EMシンガポールへの1,000億円以上の貸付金も無利子です。  
TGは原油の大半はEMから購入し、製品の多くもEMへ販売しています。
- (5) TGの利益が少ないと、TGの株価は下がります（EMの連結利益は増え、株価は上がります）。  
しかし、TGの株価が下がらないように、EMは、TGが高配当を維持して、株価を高くなるようにしています。  
「高配当」は、EMの株主の利益を害さずに、TGの株価を高くする、ほとんど唯一の方法なのです。
- (6) この高配当による高株価政策が、今と今後のEMの行動を如実に表しています。

詳しくは、1月24日のCDをお聞きください。  
または、2月15日のSS経営ゼミへの参加もしくはCDをお聞きください。

今回のキーワード

- ~~~~~
1. 資源開発集中
  2. 原油高
  3. IFRS
  4. 高度化法
  5. WTI逆格差
  6. 高配当による高株価
- ~~~~~

を理解していただくと、今後の石油業界の行方が見えてきます。

---

なお、本メルマガは、公認会計士中澤省一郎のセミナー等に参加したことがある方や、名刺交換をした方を中心として配信しております。本メルマガ配信をご希望のご友人等がいる場合には、下記HP

<http://nakazawa-cpa.net/>

のトップページからお申し込み頂けます。

ご本人のメールアドレスをご記入の上「購読」ボタンをクリックしてください。

本メルマガの配信をご希望でない方は

<http://nakazawa-cpa.net/>

のトップページから、メールアドレスをご記入の上「購読解除」ボタンをクリックしてください。

公認会計士・税理士 中澤省一郎  
[nakazawa-cpa@eco.ocn.ne.jp](mailto:nakazawa-cpa@eco.ocn.ne.jp)

---